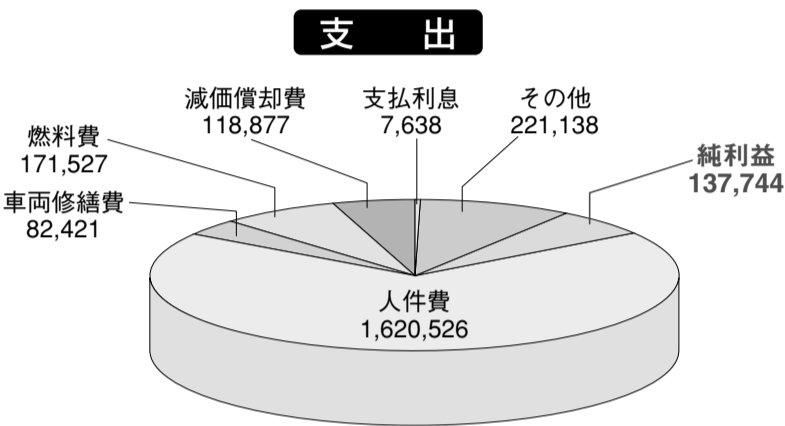
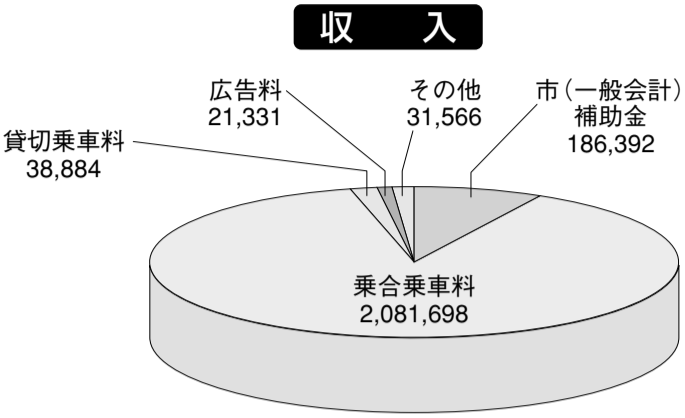


交通局の経営状況 ~平成23年度予算&累積欠損金推移

●平成23年度収益的収支予算状況 (単位:千円)



平成23年度予算について

近年、バス事業を取り巻く経営環境は、全国他都市の例に漏れず、交通手段の多様化に加え、景気の低迷や雇用環境の悪化などの影響を受け、輸送人員が伸び悩み、極めて厳しい状況にあります。

しかしながら一方で、高齢化の進展への対応や地球環境保全の観点から、人と環境にやさしい地域公共交通として、ますますその充実が求められています。

こうした状況の下、平成22年度を最終年度とする「伊丹市交通事業アクションプラン」に基づき、これまで、サービスの向上と経営基盤の確立に向けた取り組みを進め、一定の収支改善が図られましたが、累積欠損金については目標数値までの改善には至りませんでした。

●平成23年度の主な取り組み

<グリーン経営を基軸とした“人と環境にやさしい”市バス事業の持続・発展>

1. ノンステップバスへの車両更新(3両) ...導入率100%
2. バス停留所の上屋(3基)、標柱(6基)の導入・更新
3. ドライブレコーダーの設置(43台) ...導入率61%
4. サービス介助士の増員(育成強化)
5. ダイヤ改正の実施(時期未定)

今後は、平成22年度に認証取得した「グリーン経営」を基軸として、平成23年度からスタートした「伊丹市交通事業第2次アクションプラン」に基づき、更なるサービスの向上と経営基盤の強化に向けた取り組みを継続して実施していきます。

累積欠損金の推移(単位:千円)



累積欠損金の推移

バス車内外での安全対策にご理解とご協力を!!

交通局では、すべてのお客様が安全かつ快適にご乗車いただけるよう、ノンステップバス(低床バス)の導入を進めてきましたが、本年度中に乗合バス車両のすべて(88両)がノンステップバスとなる予定です。

また、乗降しやすいノンステップバスに加え、ご高齢や障がいをお持ちのお客様、妊婦のお客様などに適切な介助サービスを提供できるよう、乗務員を中心に「サービス介助士」の資格を取得することを積極的に支援しています。

お客様を安全・快適に目的地にお届けするため、日々安全運転に心が

けておりますが、やむを得ない急ブレーキや急ハンドルなどによるバス車内での転倒事故や自転車等との接触事故などが後を絶ちません。

ここでは、事故を招く主な事例をイラストで紹介させていただきます。

今後とも、お客様のご意見等も参考にさせていただきながら、乗務員をはじめ職員一丸となり事故の根絶に向けた安全対策に取り組んで参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

走行中の席の移動は危険です!



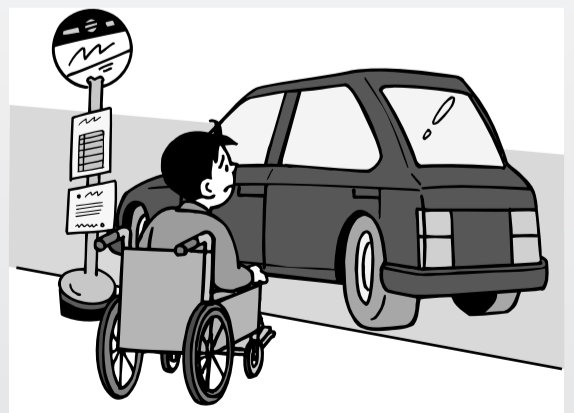
走行中、やむを得ず急ブレーキをかけることがあります。
※完全に停車してから席をお立ちください。
※走行中はつり革や手すりをしっかりとお持ちください。

交通ルールを守ってお乗りください!



自転車の飛び出し等のため、やむを得ず急ブレーキをかけたことにより車内のお客様が転倒される事故が増えています。
※夜間の無灯火、傘差し運転、携帯電話を使用しながらの運転はとて危険です。
※歩道から車道への飛び出し、急な進路変更は危険です。

バス停付近での駐停車はご遠慮ください!



路線バスの運行時間中は、バス停付近は駐停車禁止です。
※お客様の乗降の妨げとなるばかりでなく、大変危険です。